メール
mirai@nowdo.com

熱塩加納 鷲田ビオトープ

鷲田ビオトープ
喜多方市街から333号を北上
下堰下信号左折、願成寺橋
から集落の田中畳店を過ぎ
最初の丁字路を右折30m、
地区集会所駐車場利用。

鷲田地区「生きもの・水質調査」

熱塩小学校1~4年生の「遠足」

2022年7月、陸地化した休耕田3畝半(約100坪=350m²)に水を入れました。翌8月にはトンボがたくさん飛び回り、絶滅危惧Ⅱ類のゲンゴロウをはじめガムシ、ミズカマキリなどの水中生物が次々現れました。放流する訳でもなく、ただただ、用水路から水を流し込んでいるだけなのに・・・ 自然の神秘で驚異でもあります。その自然を崩さないため「外来種」は言わずもがなですが、近隣の生きものや植物(国内外来種と言います)さえ入れないようにしています。 また、畔の草も高刈りと水際を残すことで昆虫の隠れ場も確保しています。

今では虫、ドジョウやオタマジャクシを目当てにサギやカルガモ、セキレイ、ツバメなどが飛来します。ここはノスリ、サシバ、チョウゲンボウ(ハヤブサ)などの猛禽(ワシタカ)類が飛び交う地域、適度な人為的かく乱を伴いながら自然を維持する食物連鎖が築かれることを願って…。

熱塩加納未来会議×森田組

熱塩加納 https://ak.nowdo.com
熱塩加納未来会議×森田組 https://mirai.nowdo.com

熱塩加納未来会議では「農村ぶらぶら組 てくてく・あるある村の観察会(むらかん)」と「ビオトープ部」が活動しています。夢の森花の散歩みち実行委員会や地域おこし協力隊とも協力し、自治体や社協などと連携しながら地域づくりを通して熱塩加納を盛り上げます。 無料会員募集中! お問合せはメールで!

Powered by 熱塩加納未来会議×熱塩加納森田組 協賛:荒川産業㈱「故紙コンテナパーク基金」

熱塩加納

会津最北端、山形県に接する山あいの町。有機農業、名水100選、温泉と歴史と文化、花と自然に囲まれた環境省生物多様性保全上重要な里地里山

熱塩加納徒然

福島県
喜多方市熱塩加納町
面積＝156.98k㎡
標高＝255～1595m
（居住地は三ノ倉580m）
人口＝2198人
人口密度＝14人
（2023年4月）

有機農業

有機農業（無農薬水稲栽培）の村として40年以上の歴史があります。大平から始まった有機栽培は村から、「みどり戦略」へ向かい始める…

夢の森花の散歩みち
三ノ倉高原

花の里山

花でもてなす喜多方のシンボル、三ノ倉高原は東北一のひまわり、そして、菜の花畑が広がります。
市の花、ヒメサユリ群生地（ひめさゆりの丘）は環境省「生物多様性保全上重要な里地里山」に選定され保護活動が続いています

そばの作付面積は本州でNo.1を誇り石臼で挽くそばは十割が当たり前！

水

農業、花、里山は環境省選定の平成の名水百選に選定された「梅峰渓流水」がもたらします。1600mの峰々を源とする清らかな流れは日中ダムひざわ湖そして会津盆地へ

秋の田んぼを埋め尽くす蜻蛉、アキアカネ。ノスリ、チョウゲンボウ、サシバなど猛禽類、美しい声のアカショウビン、カッコウ、カジカガエル、エゾハルゼミ。そしてメレンゲのような卵を木の枝に産みつけるモリアオガエル。絶滅危惧Ⅱ類ゲンゴロウも生息しています

1984年（昭和59年）まで喜多方～熱塩の11.6kmを蒸気機関車が運行。熱塩に駅舎が残っています。

火

熱塩加納は温泉と豊かな水源の里
村名の由来でもある塩からい熱塩温泉や秘湯・日中温泉は身体も心も温まる温泉宿。
五枚沢川、濁川、野辺沢川、押切川の四河川がここを起点に会津盆地に流れ下ります。
近隣にさきがけ、20年以上前に下水道を整備、熱塩加納は、水、風、土、光に感謝 !!

土

半在家にある佐原義連の墓：
ひよどり超えで有名な佐原十郎義連が 1189年会津の領主に。
その後義連の孫である蘆名氏が会津の基礎を築いたとされます。
義連の宝篋印塔がある熱塩加納はもしかすると会津の原点かも？

熱塩加納未来会議では地域の宝を探す、農村ぶらぶら組「てくてく・あるある村の観察会」(むらかん)を開催しています。また、鷲田行政区にビオトープを作り 自然観察の池として管理し 世代間交流、関係人口創出に努めています

熱塩加納HP

熱塩加納YouTube

熱塩加納 https://ak.nowdo.com
E-mail mirai@nowdo.com

Powered by 熱塩加納未来会議×森田組